

運営推進会議 記録

事業所名	地域密着型特別養護老人ホーム妻の杜
所在地	西都市妻 1680-1
サービス種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
開催日時	令和 7 年度 第 4 回 令和 7 年 11 月 28 日（金）13:30～14:30
開催場所	地域交流室なのはな
出席者	<p>1. ご利用者の代表者 : 2. ご利用者の家族代表者 : 有馬 昌子様 3. 地域住民の代表者 : 民生児童委員妻地区会長 清田 芳弘様 4. 地域包括支援センターの職員 : 南包括 八代 直美様 北包括 河野 孝慶様 5. 介護支援専門員 : 欠席 6. 医療関係者 : 欠席 7. 施設運営に関する助言者 : 幸楽荘施設長 竹田 竜介様 : 健康管理課介護保険係 日高 安子様 計 8 名 : 白馬デイサービスセンター 施設長 松浦恵美 8. 施設長（司会） : 川崎 桂</p>
議題	<p>1. 宮崎つばさ福祉会 防災週間 報告 ・行事結果報告 ・行事の意義と今後の計画について</p> <p>（川崎）11/18-25、防災週間と銘打って防災に関する情報や防災グッズの展示をなのはなで開催した。主催は妻の杜・白馬デイ・こどもの家。協力他者は、西都市防災士協会、妻中学校、三財中学校、宮崎銀行西都支店。入所者やデイ・SS 利用者はじめ面会に来設したご家族や妻校生、三財中生の見学があった。期間中 11/22 には防災をテーマに、家族会（16 家族・20 名参加）を妻の杜白馬デイ共同で開催し、講和や参加者グループワークを行った。今後は防災をテーマにした行事を毎年の恒例にして、年々内容を改善しながら、いずれ地域の行事になることを目指している。行事を通じて地域との顔の見える連携が図れることを目標にしたい。</p> <p>（有馬）家族会に参加して防災についての学びがあった。自宅</p>

	<p>の防災リュックを見直し、備蓄食の期限が迫っていることを発見しローリングした。備えを見直すいいきっかけになった。</p> <p>2. その他 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働基準監督署指導（10/31） <p>（川崎）6月に発生した介護職員の労働災害の訪問調査が10月に実施され指導があった。指導内容は①安全衛生推進体制の整備、②労働災害の状況把握と教育、③転倒災害・腰痛災害の具体的な予防対策、④作業前中の休憩・体操・リフレッシュ、⑤健康管理と医療連携。</p> <p>今後、予防と職場の安全衛生水準の向上を目的とした改善措置を実施する。改善の取り組みは理事会承認済み。</p> <p>（松浦）体操の取り組みを職員に伝達し、業務中後に実施してもらう工夫が必要。職員が休憩できるスペースを充実する必要。</p> <p>（八代）保健師の資格を持っているので衛生管理担当者を担った経験がある。健康診断に骨粗しょう症のチェックを組み込むなどして本人の自覚を促す取り組みをしてもいいのではないかな。</p> <p>（河野・竹田）幸楽荘では自事業所の理学療法士考案の5分程度の体操を就業前に実施するようにしている。実施のタイミングは部署ごとに任せている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険法第23条の規定に基づく運営指導（11/20）
報告事項	<p>1. 利用者数や要介護度等利用者の状況</p> <p>2. 骨盤底筋トレーニングマシン「ビジリス」の紹介</p>
評価 感想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスや職員の福利厚生で取り入れられた骨盤底筋トレーニング機器について、推進委員の方々に体験をしていただいた。 <p>（感想）尿漏れ対策や腰痛対策として活用されると聞き、大変いいことと思う。初めて体験した。こういう機会があると自分の筋力の低下を振り返ることが出来ていいと思う。</p>
要望・意見 助言 等	特になし
その他	次回開催予定：2026年1月23日（金）13:30～